

学びの杜通信

第59号 令和2（2020）年3月19日発行



令和2（2020）年度の研修の主な改編について

1 基本研修

- (1) 初任者研修（小・中）、（高・特）
本研修の改善・充実及び働き方改革推進のため、宿泊研修を廃止し研修日数を1日削減し15日実施します。
- (2) 新規採用養護教諭研修
本研修の改善・充実及び働き方改革推進のため、宿泊研修を廃止します。
- (3) 教職3年目研修
平成30年度に改編した「とちぎの若手教員15（いちご）研修」が3年目を迎えることから、教職3年目研修（小・中）、（高・特）を新規に2日実施します。
- (4) 新規採用事務職員研修（小・中）
研修内容の整理・統合を行うことにより、4月に3日実施していた研修のうち1日削減します。

2 専門研修1ア

- (1) 小学校英語実践研修
平成27年度から5年間実施してきた英語授業力向上研修を廃止し、小学校における英語教育の一層の充実のため、小学校教員の英語力の強化と授業力の向上を図ることを目的とする小学校英語実践研修を令和2年度から令和5年度まで各年度3日実施します。
- (2) ネクストステージ研修
令和2年度は休止します。

3 専門研修1イ

- (1) 新任教頭研修（小・中）、（高・特）
研修内容の精選を行うことにより1日削減し3日実施します。なお、令和3年度より教頭2年目研修（小・中）、（高・特）については、1日削減し2日実施する予定です。
- (2) 新任部主事研修（特）
本研修と特別支援教育室主管の部主事連絡協議会との内容を整理・統合することにより、当センターにおける研修を1日削減し1日実施します。
- (3) 新任教務主任研修（高・特）
本研修と高校教育課主管の教務主任連絡協議会との内容を整理・統合することにより、当センターにおける研修を1日削減し1日実施します。
- (4) 新任学習指導主任研修（高・特）、新任生徒指導主事研修（高・特）、新任進路指導主事研修（高・特）
上記3つの研修の内容を整理・統合し、午前はそれぞれの職務内容に関する研修を、午後は合同でマネジメントに関する研修を実施します。なお、次年度以降、上記3つの研修のいずれかを受講したものは、他の2つの研修の受講対象となった場合、午後の研修は免除とします。
- (5) 理科・基礎実験研修（高）
本研修と教職3年目研修（新規実施）との内容を整理・統合することにより1日削減し2日実施します。
- (6) 新任道徳教育推進教師等研修
義務教育課主管の道徳教育推進教師等研修会との統合を図り、同日にそれぞれ半日実施します。
- (7) 新任地域連携教員研修
生涯学習課及び教育事務所、当センター所管の地域連携教員に対する研修内容を整理・統合することにより、当センターにおける研修を1日削減し1日実施します。

4 専門研修2

- (1) 教科等専門研修
情報専門研修（高）を新規に実施します。
- (2) 授業研究活性化プログラム（全）
校内研修ステップアップ講座（小・中）及び同講座（高・特）を整理・統合し、授業研究活性化プログラム（全）を新規に実施します。なお、本研修を中堅教諭等資質向上研修の選択研修として受講する際、免許状更新講習の受講期間が重なる者については、免許状更新講習の選択領域講習（6時間）として受講することができます。

校内研修等を支援しています



教育相談及び特別支援教育に関する講師派遣については、教育相談部で行っております。内容等については、学校の御要望に応じます。【問合せ先】教育相談部（Tel 028-665-7210・7211）

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づくいじめの認知、いじめの早期発見・早期対応、いじめの未然防止、組織的対応等について
2	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校の初期対応、不登校の未然防止、登校支援、組織的対応等について
3	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について
4	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイント等について ※Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。
5	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や指導内容を設定するためのポイント等について
6	事例検討	60～90分	指導・支援の方針や具体策を各学校の先生方と一緒に考えます。 ・障害や不登校など教育上の課題を抱える児童生徒へのかかわり、組織対応、保護者との連携の在り方について ・自立活動等に関する授業研究など
7	その他		※上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。

研修部と研究調査部では、次のとおり、講師派遣を行っています。申込みやその他のテーマの校内研修に関する御相談は、研究調査部で受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】研究調査部（Tel 028-665-7204）

No.	テーマ	目安時間	内容
1	マネジメント	45～80分	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を取り入れながら、学校の教育目標の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。
2	危機管理	45～80分	学校における危機について、ワークショップを通して考えながら、組織全体の危機管理意識を高めます。
3	主体的・対話的で深い学び	45～80分	新しい学習指導要領の方向性を理解し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善についての理解を深めます。
4	各教科等の授業研究会	45～80分	ワークショップ形式などで授業研究会を行い、授業改善につなげます。
5	総合的な探究の時間 【高等学校】	45～80分	探究活動のねらいや、「総合的な探究の時間」を充実させるための方策などについて学びます。
6	道徳教育 【小学校・中学校】	60～90分	「考え、議論する道徳」の授業の実現に向けたポイントを理解します。よりよい授業づくりに向けたアイデアなどを学びます。
7	プログラミング教育(初級編) 【小学校】	60～90分	プログラミング教育の趣旨を理解します。プログラミング的思考や、パソコン等を用いた実際のプログラムなどについて、基礎を学びます。
8	情報モラル教育	45～90分	児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応の仕方を学びます。ワークショップを通して、更に理解を深めます。

生涯学習部では、主にワークショップを通した社会教育に関する研修の支援を行っています。
内容等については、学校の御要望に応じます。 【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）

No	校内研修のメニュー(例)	目安の時間	主な内容
1	人権学習	50～120分	参加体験型の学習を通して、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重する意識を高めます。
2	学校・家庭・地域の連携	50～120分	学校運営会議等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験を通して学びます。
3	保護者対象の学習会	40～120分	保護者会（学年・学級懇談会）・PTA活動等において、親学習プログラムの活用などを中心に、ファシリテーター（進行役）として保護者同士の学びを支援します。

図書資料室に新しく本が入りました！

教育に関する専門図書や栃木県に関する資料、話題の教育書等、約130冊の新作図書が入りました。購入した図書のリストは、総合教育センターのWebサイトから御覧いただけます。ぜひ、御活用ください。



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tosyo/index.html>



新着図書の一部を紹介します



書名	著者名（発行所）	内容
未来の学校づくり コミュニティ・スクール導入で 「地域とともにある学校」へ	木村 直人 相田 康弘 （学事出版）	なぜ今、「地域とともにある学校」への転換が必要なのか。「未来の学校づくり」に必要な条件とその理由を分かりやすく解説。
こなっしーの低学年だから できる！楽しい音楽！	小梨貴裕 （音楽之友社）	小学校低学年の児童が「音楽の授業が楽しい！」と思えるノウハウや、音楽会などの行事の取り組み方を紹介。
“気になる子”と育ち合う インクルーシブな保育	酒井 幸子 守 巧 （チャイルド本社）	保育の場面ごとに豊富な事例で個別対応とインクルーシブな対応を紹介。クラス運営のヒントも満載。

<総合教育センター図書資料室>

開館：平日 9:00～17:00 土・日 10:00～17:00

休館日：第1・3日曜日、国民の祝日、年末年始（12/28～1/4）及び5/11
その他、臨時の変更もありますので、Webサイトで御確認ください。

貸出し期間：最長2週間、10冊まで

問合せ：電話 028-665-7206（生涯学習部内） FAX：028-665-7219



【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）

当センターの調査研究の成果をまとめた 冊子・パンフレット等を紹介します

■令和2（2020）年3月発行予定（4月に各学校に発送し、当センターWebサイトに掲載します）

① 高校生の地域活動参加促進に向けて～高校生と関わる大人ができること～



高校生の地域活動への参加を促進するために、地域活動への関心の度合いに合わせた効果的な支援についてまとめました。地域課題をテーマにした探究活動への取組等により、高校生の社会参画意識が高まります。ぜひ御活用ください。

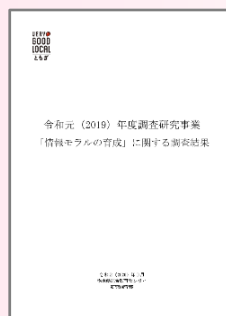
【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）



Webサイト「とちぎレインボネット」にも掲載します（3月末予定）。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

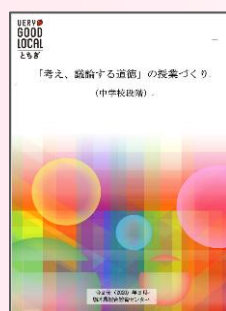
② 「情報モラルの育成」に関する調査結果（小・中・高の各学校段階）



スマートフォン、パソコン、ゲーム機等によるインターネットの利用について、県内児童生徒と保護者対象のアンケートを実施し、その結果を報告書にまとめました。また、調査結果を基に、保護者に情報モラル教育を啓発するための資料として、学年だよりや学級通信等に活用できる編集可能なコラム集をつくりました。学校の実態に合わせて、ぜひ御活用ください。



③ 考え、議論する道徳（中学校段階）



「考え、議論する道徳」の授業への質的転換を図るために、「問題意識をもつ」「自分との関わりで考える」「物事を広い視野から多面的・多角的に考える」「人間としての生き方について考えを深める」の四つの学習活動の工夫改善や、発問をつくる手順例を「発問づくりシート」を基にして分かりやすくまとめました。各校での日々の道徳科の授業づくりや道徳科の校内研修での参考資料として、ぜひ、御活用ください。

④ 学校におけるOJT 成功の鍵

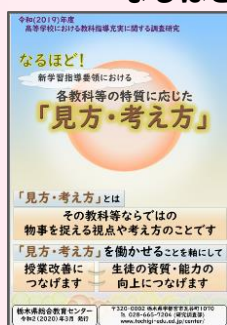


若手教員育成のためにOJTを行っている学校には、様々な関わり方の工夫があります。これらを「七つの鍵」としてまとめ、OJTを推進するために役立つリーフレットを作成しました（リーフレットは研修にて配布します）。各学校の実情に合わせ、校内でOJTを実践する中堅教員やベテラン教員の皆さんの参考資料として、ぜひ、御活用ください。

※各学校種ごとの実践事例も、当センターWebサイトにて紹介しています。

⑤ 高等学校における教科指導の充実

なるほど！ 新学習指導要領における各教科等の特質に応じた「見方・考え方」



「見方・考え方」が、授業改善の鍵となることや、生徒が多様な教科を学ぶ意義を、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語（英語）を例にまとめました。「見方・考え方」を意識するだけで、授業づくりが楽しくなります。ぜひ、御活用ください。



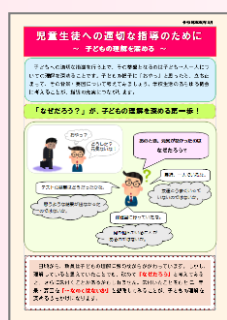
※②～⑤の資料は当センターWeb サイトに掲載しています。



http://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/?page_id=23

【②～⑤の問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)

⑥ 児童生徒への適切な指導のために～子どもの理解を深める～



子どもへの指導の基盤は、一人一人についての理解を深めることです。子どもの様子に「おやっ」と思ったときにその背景・要因を考えることに焦点を当て、子どもの理解を深めます。そのために大切にしたいことをまとめました。ぜひ、御活用ください。



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r01.htm>



【問合せ先】 教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)

⑦ 自ら安全に気を付けて行動する子どもを育むために



幼児期にふさわしい生活を通した安全教育のポイントを、「安全についての構え」「交通安全の習慣」「緊急時の適切な行動」という3つの視点から分かりやすくまとめました。ぜひ、御活用ください。

【問合せ先】 幼児教育部 (TEL 028-665-7215)

昨年度までの冊子やパンフレットも、センターWeb サイトからダウンロードできます。ぜひ御活用ください！

学校関係者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症への対応に追われる日々をお過ごしのことと存じます。感染拡大の影響を受けている方々にお見舞いを申し上げます。

皆様には、本年度1年間、学びの杜通信をお読みくださり、ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

